

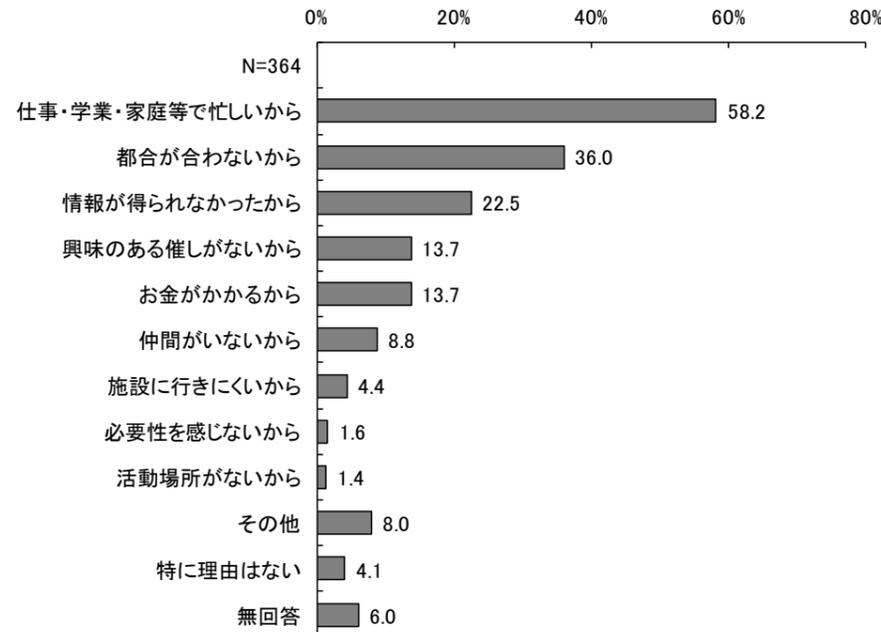
文京区アカデミー推進計画 | 第2回協議会  
文京区アカデミー推進計画 アンケート調査結果について

1. 調査結果の追加報告

(1) 過去1年間に生涯学習／スポーツを行っていない人の理由

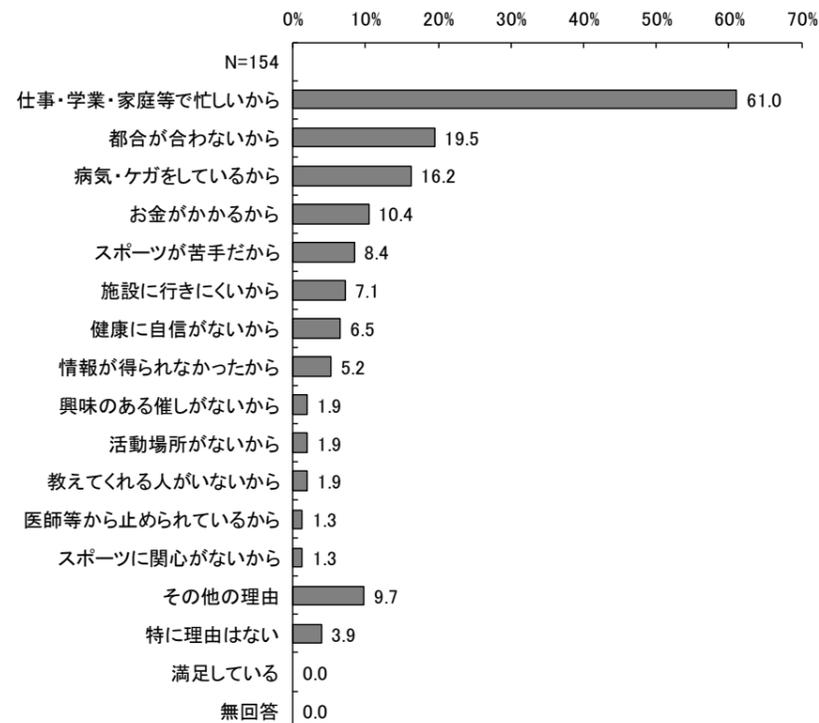
【生涯学習に参加したかったが、できなかった理由】

「仕事・学業・家庭等で忙しいから」が58.2%で最も多く、「都合が合わなかったから」(36.0%)、「情報が得られなかったから」(22.5%)が続きます。



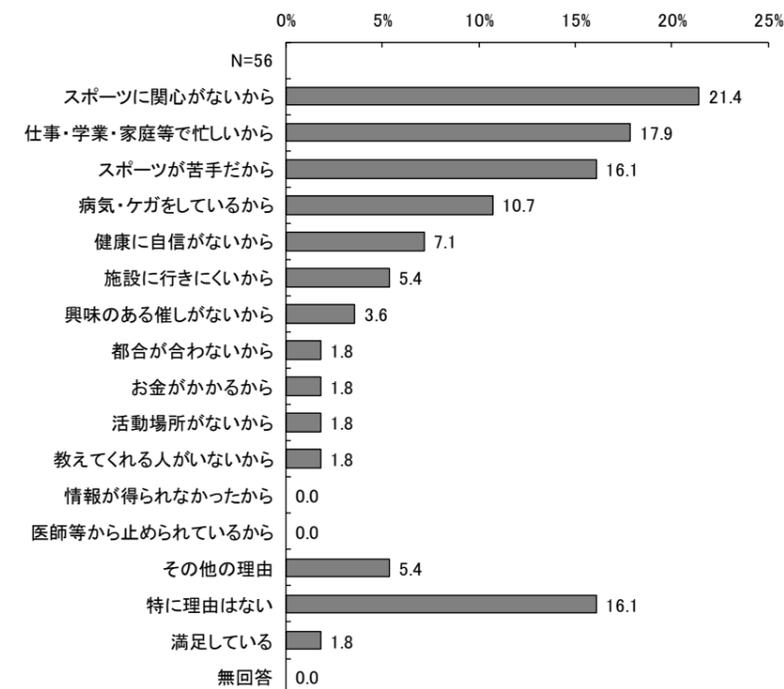
【スポーツをやりたいかったが、できなかった理由】

「仕事・学業・家庭等で忙しいから」が61.0%で最も多く、「都合が合わなかったから」(19.5%)、「病気・ケガをしているから」(16.2%)が続きます。



【スポーツをやりたいと思わない理由】

「スポーツに関心がないから」が21.4%で最も多く、「仕事・学業・家庭等で忙しいから」(17.9%)、「スポーツが苦手だから」(16.1%)が続きます。



(2) 外国人との交流状況・意向と国際交流事業への参加意向の相関関係

外国人との交流状況・意向と国際交流事業への参加意向の相関をみたところ、「交流したいと思わない」以外には「あいさつをする程度」において「参加したいと思わない」が増えています。「親しくつきあっている」「ときどき話をする」といった日常的に交流がある区民も講座・イベントへの参加意向が高いことが分かりました。

	合計 (人)	異文化理解のため の講座に 参加した い (%)	外国人と 交流する イベント に参加し たい (%)	事業ボラ ンティア として関 わりたい (%)	その他 (%)	参加した いと思わ ない (%)	無回答 (%)
全体	864	27.8	39.9	9.6	4.9	35.6	3.8
親しくつきあっている	50	28.0	58.0	12.0	2.0	24.0	6.0
ときどき話をする	63	33.3	47.6	6.3	3.2	25.4	3.2
あいさつをする程度	149	24.2	28.2	6.7	6.0	42.3	6.7
その他の交流	17	52.9	29.4	11.8	23.5	23.5	-
交流したいが、機会がない	461	32.5	51.0	12.6	5.0	23.9	3.0
交流したいと思わない	124	8.1	3.2	2.4	2.4	83.1	3.2

(3)生涯学習／スポーツ／文化芸術の実施率の相関関係

文化芸術分野・生涯学習分野・スポーツ分野の実施頻度の相関を見たところ、文化芸術と生涯学習に比較的相関がみられます。

文化芸術の鑑賞頻度と生涯学習の参加頻度の相関

	合計 (人)	週に1回以上 (%)	月に1～3回 (%)	半年に2～3回 (%)	年に数回 (%)	無回答 (%)
全体	288	15.3	22.6	18.1	34.0	10.1
週に1回以上	11	45.5	27.3	-	-	27.3
月に1～3回	66	21.2	36.4	15.2	24.2	3.0
半年に2～3回	91	14.3	18.7	34.1	23.1	9.9
年に数回	120	10.0	17.5	9.2	50.8	12.5

文化芸術の鑑賞頻度とスポーツの実施頻度

	合計 (人)	週3日以上 (年15日以上) (%)	週に1～2日 (年5日～15日) (%)	月に1～3日 (年12日～36日) (%)	3カ月に1～2日 (年4日～8日) (%)	年に1～3日 (%)	分からない (%)	無回答 (%)
全体	523	20.1	32.7	25.2	10.7	5.5	0.6	5.2
週に1回以上	18	16.7	33.3	11.1	16.7	5.6	-	16.7
月に1～3回	116	20.7	29.3	31.9	9.5	3.4	1.7	3.4
半年に2～3回	173	20.8	33.5	23.7	12.1	4.0	0.6	5.2
年に数回	216	19.4	33.8	24.1	9.7	7.9	-	5.1

生涯学習への参加頻度とスポーツの実施頻度

	合計 (人)	週3日以上 (年15日以上) (%)	週に1～2日 (年5日～15日) (%)	月に1～3日 (年12日～36日) (%)	3カ月に1～2日 (年4日～8日) (%)	年に1～3日 (%)	分からない (%)	無回答 (%)
全体	248	21.4	32.3	26.2	8.5	5.6	0.8	5.2
週に1回以上	46	19.6	37.0	23.9	4.3	6.5	2.2	6.5
月に1～3回	59	16.9	35.6	33.9	3.4	5.1	1.7	3.4
半年に2～3回	47	21.3	34.0	21.3	12.8	4.3	-	6.4
年に数回	96	25.0	27.1	25.0	11.5	6.3	-	5.2

(4)居住地と生涯学習に参加した場所の相関関係

居住地と生涯学習に参加した場所との相関をみたところ、地域アカデミーが近くにある地域において、「アカデミー文京、その他の地域アカデミー」で参加する割合が増えていることが分かります。

	合計 (人)	アカデミー文京、 その他の地域アカ デミー (%)	シビック センター 内施設 (%)	区立図書 館 (%)	森鷗外記 念館 (%)	文京ふる さと歴史 館 (%)	その他の 区立施設 (%)	区内大学 の公開講 座 (%)	区内の民 間生涯学 習施設 (%)	区外の生 涯学習施 設等 (%)
全体	349	16.9	15.8	5.4	1.7	2.9	14.6	7.4	6.6	24.6
大塚	28	25.0	10.7	3.6	-	3.6	17.9	7.1	-	25.0
音羽	12	25.0	-	-	-	-	16.7	-	8.3	16.7
春日	12	16.7	8.3	-	8.3	8.3	16.7	8.3	-	50.0
小石川	36	16.7	11.1	-	-	-	11.1	11.1	13.9	41.7
後楽	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
小日向	20	25.0	25.0	10.0	-	5.0	15.0	-	5.0	20.0
水道	12	8.3	8.3	16.7	8.3	-	16.7	8.3	-	25.0
関口	5	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0	40.0
千石	29	20.7	13.8	3.4	-	-	13.8	3.4	3.4	10.3
千駄木	26	23.1	7.7	15.4	3.8	3.8	15.4	-	3.8	15.4
西片	9	11.1	22.2	-	-	-	22.2	22.2	11.1	44.4
根津	10	10.0	20.0	-	-	20.0	20.0	-	-	30.0
白山	26	7.7	23.1	3.8	3.8	3.8	30.8	11.5	7.7	15.4
本駒込	46	17.4	10.9	-	-	-	15.2	13.0	10.9	26.1
本郷	39	7.7	25.6	12.8	5.1	5.1	5.1	5.1	-	25.6
向丘	8	37.5	12.5	25.0	-	12.5	12.5	-	12.5	37.5
目白台	14	21.4	21.4	7.1	-	-	7.1	14.3	28.6	14.3
弥生	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
湯島	14	7.1	28.6	-	-	-	14.3	14.3	-	7.1

※地域アカデミーの住所

- ・アカデミー向丘…文京区向丘2-5-7(当時)
- ・アカデミー湯島…文京区湯島2-28-14
- ・アカデミー音羽…文京区大塚5-40-15
- ・アカデミー千石…東京都文京区千石1-25-3
- ・アカデミー茗台…文京区春日2-9-5

## 2. H21年度調査との比較

### (1)生涯学習の取組状況

H21年度調査では、生涯学習に取り組んだことのある割合は41.4%でした。今回は38.1%となっており、生涯学習の参加者が少なくなっていることが分かります。

	H21年度調査	H26年度調査
生涯学習に参加した ※1	41.4	38.1
参加したいが、できなかった ※1	57.0	39.9
参加したいと思わない		17.7

※1 H21年度調査では「生涯学習に取り組んだ」「取り組んでいない」という選択肢でした

※2 H21年度調査では取組状況を聞いた上で学習分野を聞いていましたが、H26年度調査では、分野と取組状況を同時に聞いています

### (2)スポーツの実施状況

H21年度調査では「日頃、スポーツをしている」が46.8%であったのに対して、今回は74.6%の方が「スポーツを行った」を選択しています。選択肢こそ異なりますが、スポーツを行う人が増えていると言えます。

一方、スポーツの実施頻度に関しては、週に1回以上スポーツをする人の割合(スポーツ実施率)が48.9%から38.4%に減少しています。

	H21年度調査	H26年度調査
スポーツを行った ※1	48.9	74.6
やりたいが、できなかった ※1	50.4	16.8
やりたいと思わない		6.1

※1 H21年度調査では「日頃、スポーツをしている」「していない」という選択肢でした

※2 H21年度調査では取組状況を聞いた上で種目を聞いていましたが、H26年度調査では、種目と取組状況を同時に聞いています

### (3)文化芸術の鑑賞状況

H21年度調査では、鑑賞したことのある人は全体の62.3%（「参加したことも鑑賞したこともある」「参加したことはないが鑑賞したことはある」の合計）でした。今回は79.5%となっており、鑑賞経験者が多くなっていることが分かります。(H21年度調査では、鑑賞した分野に「映像作品」は含まれていません)

	H21年度調査		H26年度調査
参加したことも鑑賞したこともある	25.0	鑑賞したことがある	79.5
参加したことはないが鑑賞したことはある	37.3		
参加したことはあるが鑑賞したことはない	2.3	鑑賞したいが、できなかった	14.2
参加したことも鑑賞したこともない	33.4	鑑賞したいと思わない	3.6
参加・鑑賞程度不明	1.2		

### (4)外国人との交流状況

H21年度調査と今回では「親しくつきあっている」「ときどき話をする」はほぼ同じ割合で、「あいさつをする程度」が5.9%増加していました。

	H21年度調査		H26年度調査
親しくつきあっている	5.6	親しくつきあっている	5.5
ときどき話をする	6.9	ときどき話をする	6.9
あいさつをする程度	10.4	あいさつをする程度	16.3
付き合いはない	50.4	交流したいが、機会がない	50.4
近所で外国人を見かけない	13.6	交流したいと思わない	13.6
近所ではないが外国人とのつきあいはある	6.9		
その他	2.0	—	—

### (4)外国人の受け入れに対する意識

H21年度調査と比較すると、今回の調査では、好意的な意見(「異文化交流が活発になる」「国際感覚の高揚につながる」)の合計が大きく増加していることが分かります。

	H21年度調査			H26年度調査
	住民	観光客		
異文化交流が活発になる	23.9	39.2	異文化交流が活発になる	60.8
国際感覚の高揚につながる	17.7	18.1	国際感覚の高揚につながる	47.3
特に何とも思わない	43.3	31.0	特に何とも思わない	12.2
好ましく思わない	3.6	2.3	文化や考え方の違いによる誤解が生じる	19.5
—	—	—	日本独特の表現や暗黙の了解が困難になる	7.8
—	—	—	言葉の壁により意思疎通が困難になる	7.1
分からない	5.8	4.6	分からない	4.2
その他	2.7	1.9	その他	5.6

※1 H21年度調査では単一回答でしたが、H26年度調査では複数回答でした

### (5)必要な観光の情報発信手法

H21年度調査と比較して、今回は「区内ロケ地の情報発信の充実」の割合が減少していますが、順位に変動はありません。

	H21年度調査	H26年度調査
区・観光協会のホームページの内容の充実	31.4	43.9
新聞、テレビ、雑誌を活用した情報提供	22.1	31.6
パンフレット等の紙媒体での情報提供	19.2	28.0
SNSを活用した情報発信の促進	—	16.0
携帯型端末に向けた情報発信の促進	—	13.1
区内ロケ地の情報発信の充実 ※1	15.3	12.6
その他	1.6	2.6
特になし	7.8	6.1

※1 H21年度調査では「ドラマ、映画などの撮影誘致」という選択肢でした

※2 H21年度調査では単一回答でしたが、H26年度調査では複数回答でした

### 3. 生涯学習に関する国・他自治体との比較

#### (1) 比較する調査

- ・生涯学習に関する世論調査(内閣府、平成24年度実施)
- ・台東区民の意識調査(台東区、平成23年度実施)

#### (2) 生涯学習の取組状況

内閣府の「生涯学習に関する世論調査」では、「(過去1年間で)生涯学習をしたことがない」と回答した人の割合は42.5%です。一方、今回の調査では、「参加したいが、できなかった」「参加したいと思わない」を合計した割合は57.5%でした。

※今回の調査は生涯学習講座の参加の有無に基づいた実施状況であり、一方の内閣府は講座に限定せず、スポーツも含めた数字ですので、一概に比較できるものではありません

#### (3) 生涯学習の内容

全国(内閣府)、台東区、文京区において過去1年間に取組まれた学習活動の上位3位は以下のとおりです。

	全国	台東区	文京区 (H26)
1位	健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など) (30.4%)	仕事に役立つ資格や技能 (10.4%)	健康・医学・食育 (10.4%)
2位	趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など) (25.7%)	医学、健康法など健康管理 (8.8%)	教養(文学・自然科学・文化芸術等) (10.7%)
3位	職業上必要な知識・技能 (15.2%)	経済、時事、社会問題 (6.6%)	仕事に役立つ知識の取得や資格取得等 (7.9%)

※台東区の調査ではスポーツや芸術鑑賞も選択肢に含まれていますが、それは除外しています

### 4. スポーツに関する国・他自治体との比較

#### (1) 比較する調査

- ・体力・スポーツに関する世論調査(文部科学省、平成24年度調査)
- ・都民のスポーツ活動に関する世論調査(東京都、平成26年度実施)
- ・第41回千代田区民世論調査(千代田区、平成26年度実施)

#### (2) スポーツの実施状況

##### 〈スポーツの実施状況〉

全国・東京都における過去1年間のスポーツの実施状況は、80%を超えており、ともに7割半ばである千代田区・文京区は全国・東京都よりも低くなっています。ただし、文科省・東京都・千代田区の調査では、運動・スポーツに「散歩」が含まれており、行うべき種目の垣根が低くなっています。

	全国	東京都	千代田		文京区
スポーツをした	80.9	88.1	75.8	スポーツを行った	74.6
スポーツはしなかった	19.1	11.9	22.6	やりたいが、できなかった	16.8
				やりたいと思わない	6.1

##### 〈実施頻度〉

スポーツ実施率は、文京区が38.9%であるのに対して、国は47.5%、東京都は60.5%であり、国・東京都に対して低くなっています。

### 5. 文化芸術に関する国・他自治体との比較

#### (1) 比較する調査

- ・文化に関する世論調査(内閣府、平成21年度実施)
- ・第37回荒川区政世論調査(荒川区、平成24年度実施)

#### (2) 文化芸術の鑑賞状況

内閣府の調査では過去1年間で鑑賞したことのある人が6割強、荒川区で5割半ばであるのに対して、文京区では8割弱と高い割合になっています。

	全国	荒川区		文京区	
鑑賞した	62.8	鑑賞・活動した	54.7	鑑賞したことがある	79.5
鑑賞していない	36.9	鑑賞・活動していない	45.3	鑑賞したいが、できなかった	14.2
				鑑賞したいと思わない	3.6

いずれの調査も「映画」「映像・写真」「漫画」等の商業性の高い分野を選択肢として含めており、今回の調査で、映画を含む「映像作品」があることで著しく高くなっているわけではないと言えます。なお、鑑賞分野は内閣府の調査でも「映画(アニメーションを除く)」「(37.2%)」が最も多く選ばれています。

### 6. 観光に関する他自治体との比較

#### (1) 比較する調査

- ・台東区民の意識調査(台東区、平成21年度実施)
- ・新宿区区民意識調査(新宿区、平成26年度実施)

#### (2) 観光への期待

観光客が増えることによる期待では、新宿区・台東区が具体的なメリットを上位に挙げている一方、文京区では、「文京区のイメージアップ」が第1位になっています。(台東区の調査で第4位になっている「歴史文化資源の保存・継承につながる」は、今回の調査では選択肢に含まれていませんでした。)

	新宿区	台東区	文京区 (H26)
1位	経済が活性化する (74.5%)	観光客の消費により飲食業や宿泊業が潤う (59.4%)	文京区のイメージアップ (44.6%)
2位	都市基盤の整備や景観政策などのまちづくりが進む (42.6%)	まちが賑やかになる (52.0%)	飲食業や宿泊業の活性化 (28.9%)
3位	新宿の知名度(ブランド力)があがる 新宿の文化や歴史を多くの人に知ってもらう機会となる (30.3%)	台東区のイメージアップにつながる (50.9%)	まちが賑やかになること (25.8%)
4位	集客によりまちがにぎわう (24.6%)	歴史文化資源の保存・継承につながる (42.6%)	来街者と区民の交流による新たな文化創造 (17.0%)

## 7. 国際交流に関する他自治体との比較

### (1) 比較する調査

・第41回千代田区民世論調査(千代田区、平成26年度実施)

### (2) 外国人との交流意向

千代田区では、「外国人と交流したいと思わない」人の割合が17.7%でした。文京区では13.6%のため、交流したいと思う人の割合が比較的高いと言えます。

	千代田区		文京区
積極的に交流したい	11.6	親しくつきあっている	5.5
機会があれば交流したい	63.6	ときどき話をする	6.9
—	—	あいさつをする程度	16.3
—	—	交流したいが、機会がない	50.4
あまり交流したくない	14.1	交流したいと思わない	13.6
交流したくない	3.6		

## 8. オリンピック・パラリンピックに関する他自治体との比較

### (1) 比較する調査

- ・都民生活に関する世論調査(東京都、平成26年度実施)
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る区民等意識調査(中央区、平成26年度実施)
- ・台東区区政サポーター アンケート調査(台東区、平成26年度実施)

### (2) オリンピック・パラリンピック開催に対する期待

選手村の誘致ならびに開催後の住宅としての利用が決まっている中央区では、開催に際しての期待はハード面・経済面が多い傾向にあります。一方、台東区・文京区は経済面のほか、文化的な要素が感じられる効果が期待されていることが見て取れます。(当時、文京区は競技会場候補ではありませんでした)

	中央区(開催前)	中央区(開催後)	台東区(開催中・後)	文京区(開催前・中)
1位	幹線道路や公共交通の整備促進 (60.2%)	人口増に伴う行政サービスの強化 (35.2%)	来街者の増加により地域が活性化する (72.1%)	インフラの整備 (36.2%)
2位	観客数の増加等による経済活性化 (40.9%)	区民・子どもたちの国際理解の定着 (26.7%)	スポーツへの関心が高まる (49.7%)	国際交流の活性化 (23.9%)
3位	防犯対策の強化 (28.1%)	中央区の魅力・知名度の向上 (24.7%)	バリアフリー化等の環境整備が進む (45.9%)	おもてなしの心あふれる地域の推進 (23.1%)
4位	五輪関連投資等による経済活性化 (25.9%)	海外観光客との継続交流 (24.3%)	諸外国との文化的な交流など国際理解が進む (42.0%)	観光客数の増加による区内経済活性化 (22.8%)

※台東区の調査ではオリンピックの影響を聞く設問であり、ネガティブな影響も含まれていますが、期待に該当するもののみ抜粋しています

### (3) オリンピック・パラリンピック開催に際して区に期待すること

台東区において区に期待されていることが、区ないしは区民に向けた施策であるのに対して、文京区では来街者を意識したものが比較的上位に来ていることが分かります。

いずれもアスリート育成を含むスポーツ振興がそれほど高い割合でないことが特徴だと言えます。(東京都は9つの選択肢中5位・8位、台東区は6つの選択肢中5位、文京区は12の選択肢中10位です)

	東京都	台東区	文京区
1位	誰もが安全・安心に過ごすことができる高度防災都市の構築と治安維持 (52.4%)	安全・安心の向上 (78.1%)	多言語化の充実 (24.3%)
2位	「おもてなしの心」で、東京を訪れる全ての人々を歓迎する都市の実現 (27.5%)	来街者の受入体制(おもてなし)の強化(バリアフリー化の推進、多言語対応等) (68.9%)	バリアフリー・障害者理解の促進 (23.9%)
3位	再生可能エネルギーの利用促進など、環境にやさしい都市の創出 (27.4%)	産業振興、観光振興、文化振興(地域活性化等) (58.5%)	語学・観光ボランティアの育成 (23.3%)
4位	円滑かつ快適に利用できる総合的な交通ネットワークの構築 (25.7%)	オリンピック・パラリンピックの理念やグローバルマナーなどの学習機会の充実 (32.8%)	練習会場の誘致 (18.4%)